

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	保健師課程必修
担当教員			
◎野口裕子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎野口 裕子 久保野 裕子 実務経験のある教員が担当します。	【研究室】 209 共同研究室2
【本学の科目区分】 専門科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 保健師課程		
【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】 ○		

到達目標	1. 学齢期の発達と健康状況や子ども達を取り巻く社会状況をふまえ、対象の特徴を理解する。 2. 学校保健を支える法体系および行政体系を理解する。 3. ヘルスプロモーションの視点に基づき、学校保健の場における保健師の役割と活動方法を理解する。 4. 現在の社会情勢や労働環境をふまえ、労働の場における対象の特徴を理解する。 5. 産業保健を支える法体系および行政体系を理解する。 6. ヘルスプロモーションの視点に基づき、産業保健の場における保健師の役割と活動方法を理解する。 7. 各活動場所における多職種連携および保健師の課題を考えることができる。
授業概要	学校・産業の場における人々の活動と健康状態を理解するとともに、健康を保持増進していくための法体系・行政体系や公衆衛生看護活動について、具体的にイメージできるよう構成する。
授業計画	1-3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：学校保健の歴史的変遷を学習するとともに学校保健活動の行政体系・法体系を学習する。 学校保健の現状と養護教諭の活動及び専門性を理解する。 学習内容：1. 学校保健活動とは 2. 学校保健活動の歴史的変遷 3. 学校保健を支える行政体系と法体系 4. 養護教諭の職務と保健室の機能・運営 5. 学齢期の子どもの発達と健康状態 6. 学校内外における多職種連携 備考：野口 4-6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：産業保健の歴史的変遷を学習するとともに産業保健活動の行政体系・法体系を学習する。 産業保健の現状及び保健師の専門性を理解する。 学習内容：1. 産業保健活動とは 2. 産業保健の歴史的変遷 3. 産業保健を支える行政体系と法体系 4. 労働衛生管理体制における保健師の役割 5. 社会情勢と労働者の健康 6. 労働災害の現状と予防に向けた対策 7. 産業保健における看護活動の方法 8. 産業における様々な活動の場と保健師の役割 9. 中小企業へのサポートシステム 10. 産業保健計画と評価 備考：久保野 7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：産業保健活動の実際を学ぶ 学習内容：産業保健師の職務と産業保健活動の実際 備考：ゲストスピーカー 8 授業内容

	<p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：学校保健および産業保健における連携</p> <p>学習内容：地域との連携について、グループで話し合う</p> <p>備考：野口、久保野</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：公衆衛生看護学概論、対象別公衆衛生看護活動論 I（母子保健分野、成人保健分野、高齢者保健分野）で学んだ内容を基礎としているので、復習して授業に臨んでください。</p> <p>事後学習：学校保健分野、産業保健分野における看護職の役割と活動方法、保健師活動における課題について考察してください。</p>
評価方法、評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 試験100%：期末試験として、到達目標1～7の目標達成度を最終的に評価する筆記試験で評価する。 但し、課題の提出状況が悪い場合は、最大10点をめどに減点する。 試験実施日については、最初の講義時に説明する。
必携図書	<ul style="list-style-type: none"> 標準保健師講座3「対象別公衆衛生看護活動」（医学書院） 国民衛生の動向(2024/2025)、厚生統計協会。
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> 産業看護学（日本看護協会出版会） 公衆衛生看護学(2012)（中央法規） 最新公衆衛生看護学 第3版2022年版 各論2（日本看護協会出版会）
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> 必要時、指示する。 試験を受けるには、2/3以上の出席が必要（20分以上の遅刻、途中退出は欠席とみなす）。
教員からのメッセージ	授業は双方向で行い、学生とディスカッションしながら展開していくので、積極的な受講態度を期待します。
オフィスアワー	